



Challenge

No.12

呉市立蒲刈中学校
第2学年通信
令和4年9月27日

秋を感じる頃となりました



朝夕めっきり涼しくなり、秋の到来を感じる季節となりました。9月に入っても、暦の上では秋なのに汗ばむ日が続いていました。やっと秋らしくなりましたね。それにしても長かった夏。生徒の皆さんの心に残る夏の思い出は何でしょうか。

〔夏の思い出・・・生活記録より〕

- ・夏の思い出はカヌーです。学校のみinnで楽しみながらカヌーをするのがとても心地良かったです。家族でも行ってみたいと思いました。
- ・夏の思い出は海に行ったことです。下蒲刈の梶ヶ浜で思い切り楽しみました。
- ・友人と一緒に何回も花火をしたことが楽しかったです。
- ・欲しいものを買ってもらえたのが夏の思い出です。嬉しい思い出しかありません。
- ・友達と海に泳ぎに行ったことです。1年ぶりに泳いだのでとても楽しく、夏の思い出になりました。



〔9月だなと思うこと・・・生活記録より〕

- ・トンボが飛んでいるのを見ると「9月だな。秋だな。」と思います。
- ・台風がたくさん来るので9月だなと思います。今もトリプル台風が発生しているので、災害には気をつけたいです。
- ・涼しくなったので秋だなと思います。まだまだ暑いけど、ちょっと風が吹けば涼しいです。8月とは違って、涼しくなった中で部活ができるのは嬉しいです。
- ・体調不良の人が増えてきたので季節の変わり目を実感します。暑い日や涼しい日、1日のうちでも暑かったり涼しかったりするので体調管理には気をつけたいです。



100問テスト（英語）にチャレンジ

9月15日（木）に今年度初の100問テストが行われました。前回の学年通信で檄^{げき}を飛ばしたところですが、生徒の皆さんはどのような意気込みで臨んだのでしょうか？

- ・90点以上を目標に頑張りたいです。明日頑張りが発揮できるように、今日最後の復習をしっかりしたいです。
- ・100点は取れなくても、できるだけ力を発揮していい点を取りたいです。
- ・1年生の時よりも良い点数を取りたいです。
- ・明日のテストでは満点を取りたいです。本番で緊張して忘れないように、完璧にしてテストに臨みたいです。



道徳の学習から

9月13日(火)の道徳の学習では、中学生の取り組んだ課題がきっかけで、建築家という職業に就き、更に建築家として「いかに社会に貢献できるか」を自問自答しながら生活している主人公・坂茂さんの生き方とおして社会貢献について考えました。

坂さんについて、芥川賞作家の辻仁成さんはインタビューを通して次のように紹介しています。

世界的に高名な日本人建築家は数多くいるけれど、この人ほど建築家の使命感について考えている人は少ない。その姿勢は取材したこちらが驚くほどに強い意志と博愛精神によって貫かれている。世界各地で震災が起こればすぐさま駆け付け、もちろん自費で、しかも熊本震災の時などは大分市内で借りた大型トラックを自ら運転、学生たちを引き連れ、誰よりも早くたくましく現地に急行した。建築界のノーベル賞とも言われるプリツカ一賞を受賞しているとは思えない行動力である。

偉くなっていけば先生や大家になって終わる人が多いのに、この男は最前線で指揮をとり、建築家に今出来ることを模索し続ける。まさに行動の建築家である。

【どんなことで社会貢献したいですか?】〔学習シートより〕

- ・町の特長を活かした建物などの紹介をしたいです。自分が建築家だったら、海が見える家などコストを抑えた建物を作りたいです。
- ・近いところで地震などの災害が起こったら、ボランティアをしに行きたいです。
- ・困っている人のために募金をしたいです。
- ・坂さんのように大きなことはできなくても、自分達ですぐできるゴミ拾いなどをするので社会貢献したいです。
- ・人の役に立つ社会貢献をしたいです。
- ・いらないものをリサイクルして社会のために役立てたいです。
- ・地域に多くの人が集うように、美化活動などを積極的に行いたいです。
- ・坂さんのように全世界を飛び回ることはできなくても、身近な困っている人の役に立ちたいです。

「認知症」についての学習～出前トーク～

9月21日(水)6校時に、絵本の読み語りでいつもお世話になっている岡田様から「認知症」についてお話を伺いました。日本は超高齢社会になりつつあります。そうすると近い将来、4人に1人が認知症になる可能性があるそうです。今まで当たり前のようにできていたことができなくなることで、認知症になった本人自身が一番苦しく辛い思いをしていることが分かりました。私たちは、「何でできんの?」ではなく、苦しんでいる人に優しく寄り添える存在でありたいですね。



【岡田様のお話を聞いて】〔生活記録より〕

- ・見ないふりをするのが一番いけないことだと思いました。「認知症の人に優しく寄り添えば笑顔が生まれる」とお聞きし、こちらでも笑顔で接していきたいと思いました。
- ・認知症の人は、自分が思っていたよりも辛い思いをされていることが分かりました。もしも自分の身内が認知症になったら、支えて楽しく話をしていきたいと思いました。
- ・私は今まで、認知症になると本人は何も分からなくなって、周りの人が大変で苦しんでいるのだと思っていました。しかし、今日のお話を聞いて、認知症になった本人が一番苦しい思いをしていることが分かりました。だからそのことをしっかりと理解して優しく寄り添っていきたいと思いました。

